

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)結果(平成20年度事業分)

施設名		山梨県立ゆずりはら青少年自然の里			
指定管理者		上野原市	所管課	社会教育課	
指定期間		平成18年4月1日～平成23年3月31日			
施設の使命・役割(運営目標)		自然の中で、集団生活を通じて自律、協同などを体験的に学習する場を提供すること。 主催事業の実施を通じ、自然の中でふるさとを愛するたくましい青少年を育成する機会を提供すること。			
指定管理者が行う業務		利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 地域における生活文化の体験学習に関する業務 野外観察、自然探究その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 野外活動及びレクリエーションに関する業務 その他教育委員会が必要と認める業務			
維持管理業務の評価		指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容		
		施設利用者が安全かつ快適に利用できるように常に配慮し、快適な環境づくりに努めた。保守点検等により快適かつ良好な維持管理ができた。	概ね計画に基づき、適切に実施されていた。 今後も、協定書、業務計画書、各法令等に基づく各業務を執行していくこと。		
運営業務の評価		指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容		
		自然体験や集団宿泊体験活動のなかで指導・助言等を行い、安全で廉価な食事を提供できた。ホームページによる広報活動効果やリピーターにより利用者の増加が図られ、主催事業についてはプログラム開発等により、応募者が多数あった。	概ね良好に運営業務が執行されていた。 今後も、協定書、業務計画書、各法令等に基づく各業務を執行していくこと。		
自主事業の評価		指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容		
		ほとんどの事業で募集定員を上回る応募があったが、可能な限り受け入れ実施した。 今後も新しいプログラムの開発により、多くの人々に利用してもらおうよう努力していく。	今後も、事業計画書等に基づいた適正な業務執行に努めること。		
利用者満足度調査	調査結果	満足度	利用者の声		
		満足度を測る調査項目はないが、利用者からは満足した旨が伺える声が多く聞かれる。	施設の設備が充実していて使いやすい。 申し込み方法が簡単で良い。 スタッフの対応が良い。 事業については満足している。 主催事業については抽選を実施しているが、応募者全員を受け入れてほしい。		
利用者満足度調査	評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容		
		利用料金が安いことや都心に近い距離にあるため、リピーターが多い。 プログラムの開発を今後も続けたい。 主催事業については、非常に人気があり、応募者全員を受け入れたいがスタッフが足りない。 今後も新規利用者の開拓に努力していく。	利用者からは、満足した旨が伺える声が多く聞かれたことであった。満足度を測る内容の調査を行うよう、施設に指導した。今後も、利用者の意見を参考にしながら、改善できる点は改善し、一人でも多くの利用者に満足してもらえるよう、各業務を行っていくこと。		
利用実績	利用者数	H19年度実績(人)	H20年度計画(人)	H20年度実績(人)	H21年度目標(人)
		11,175	12,000	11,597	12,000
利用実績	評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容		
		キャンプ場利用者が多くなった分、宿泊数は伸びた。今後もPR活動をし、利用者増加を目指す。	今後も、事業計画書等に基づいた各事業を工夫しながら実施し、経費節減、費用対効果に留意しながら、利用者増加に向けて運営していくこと。		
収支の状況	科目	H20年度計画額(円)	H20年度実績額(円)	差額(計画額-実績額)(円)	H21年度計画額(円)
		収入			
	利用料金収入				
	指定管理料	25,756,000	25,756,000	0	25,530,000
	その他収入	0	2,863,000	-2,863,000	0
	計	25,756,000	28,619,000	-2,863,000	25,530,000
支出	25,756,000	27,972,995	-2,216,995	25,530,000	
差し引き(収入-支出)	0	646,005		0	
収支の状況	評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価		
		概ね計画通り実施した。	今後も、事業計画書等に基づいた各事業を工夫しながら実施し、経費節減、費用対効果に留意しながら運営していくこと。		
施設の運営目標の達成状況		H20 利用者数目標値 12,000 実績 11,597 H20 主催事業参加者数目標値 2,090 実績 1,656 利用者数は、目標数を下回ったものの、前年度よりは増加している。 主催事業参加者数は目標を達成できなかったものの、計画していた主催事業参加者定員数をほぼ満たしていた。 自然の中で、集団生活を通じて自律、協同などを体験的に学習する場の提供、及び主催事業の実施を通じ、自然の中でふるさとを愛するたくましい青少年を育成する機会の提供という施設の使命・役割(運営目標)を日々果たしている。			
総合的な評価及び改善事項		現地確認したところ、施設内外とも管理がよく行き届いていた。 今後も、主催事業等を工夫しながら実施し、経費節減、費用対効果に留意しながら、継続して積極的なPR活動を行うなど、利用者増加に向けて運営していくことが必要である。			